



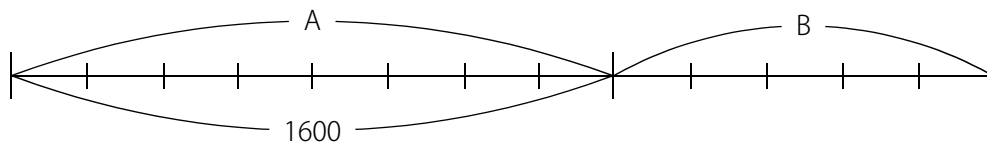
例題と解説

例題 1

A君とB君の所持金の比は8:5です。A君の所持金が1600円の時、B君の所持金は何円ですか。

答え 1000円

[例題 1 の解説]



上の線分図より、1600円が目もり8個分なので $1600 \div 8 = 200$ より1個分は200円であることがわかります。

B君は5個分だから $200 \times 5 = 1000$ よりB君の所持金は1000円であることがわかります。

(別解)

A君の所持金をもとにする(1とする)とB君の所持金は $5 \div 8 = \frac{5}{8}$ です。

これはA君の所持金の $\frac{5}{8}$ 倍がB君の所持金ということだから、 $1600 \times \frac{5}{8} = 1000$ より

B君の所持金は1000円であることがわかります。



例題と解説

例題 2

□にあてはまる数をもとめなさい。

(1) $2:5=\square:15$

(2) $4.8:4=12:\square$

答え (1) 6 (2) 10

[例題 2 の解説]

(1)

$$\begin{array}{c} \text{3倍} \\ \curvearrowright \\ 2:5=\square:15 \\ \curvearrowleft \\ \text{3倍} \end{array}$$

左図より、15は5の3倍にだから、□も2の3倍です。□=2×3=6

(2)

$$\begin{array}{c} \text{2.5倍} \\ \curvearrowright \\ 4.8:4=12:\square \\ \curvearrowleft \\ \text{2.5倍} \end{array}$$

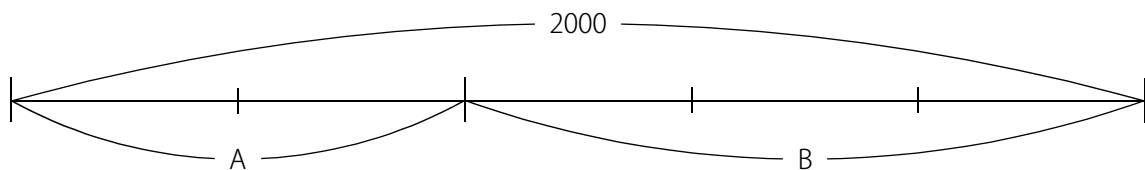
左図より、12は4.8の2.5倍だから、□も4の2.5倍です。□=4×2.5=10

例題 3

A君とB君の所持金の合計は2000円です。A君とB君の所持金の比が2:3のとき、それぞれの所持金は何円ですか。

答え A 800円, B 1200円

[例題 3 の解説]



上の線分図より、2000円が目もり5個分なので $2000 \div 5 = 400$ より1個分は400円であることがわかります。

A君は2個分だから $400 \times 2 = 800$ 円、B君は3個分だから $400 \times 3 = 1200$ 円であることがわかります。



例題と解説

(別解)

線分図を使わずに計算だけで求めます。

A君とB君の所持金の比が2：3だから全体は $2+3=5$ です。

よってA君の所持金は全体の $\frac{2}{5}$ 、B君の所持金は全体の $\frac{3}{5}$ です。

$$(\text{A君の所持金}) = 2000 \times \frac{2}{5} = 800\text{円}, (\text{B君の所持金}) = 2000 \times \frac{3}{5} = 1200\text{円}$$

このように合計や全体を比にしたがって分けることを^{ひ れいはいぶん}比例配分といいます。

ポイントまとめ

- ・ 合計や全体を比にしたがって分けることを^{ひ れいはいぶん}比例配分といいます。